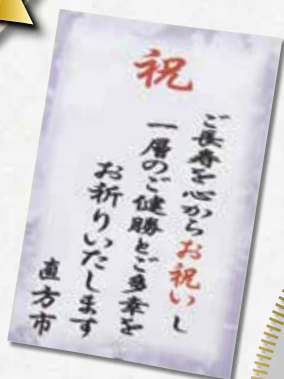




おめでとうございます

令和4年度に、市内で23人が100歳を迎えます。
9月13日に、市長が男女1名ずつご自宅を訪問し、
長寿をお祝いしました。



甲斐フニさん

大正11年5月25日生まれ

笑顔が素敵な甲斐さん。
デイケアを週3回上手に使われ、100歳を迎えられた現在もお元気にご自宅で過ごされています。



島正義さん

大正11年12月13日生まれ

95歳まで僧侶としてお経をあげていた島さん。
読書が趣味で、仏教哲学の本を探しに本屋まで歩いていくほどお元気です。

●今年度、市内で100歳以上になる人の数

年齢	人数
100歳	23
101歳	20
102歳	7
103歳	4
104歳	5
105歳	3
108歳 (市内最高齢)	1
計	63

令和4年9月1日時点



「こんなことがありました」

まちの話題



チューリップフェアへの 感謝と発展の 願いを込めて祈願



8月10日、
(社)直方市
観光物産振
興協会が多
賀神社で「の
おがたチュ
リップフェア
への感謝と発
展を願う祈

願しました。同協会が主催する「のおがたチューリップフェア」は平成9年から始まり、多くの方々の募金や企業の協賛金により支えられてきました。今回の祈願は、これまでの支援に対する感謝と今後の発展への願いを込めて実施したもので、同フェアの運用に活用されるチューリップ募金箱に対して、多賀神社の神職に祈禱していただきました。

参列した同協会職員の國房さんは「約15万球ものチューリップが咲き誇る同フェアの実現は、多くの方々のご協力によるもの。その感謝を忘れず、さらなるフェアの盛り上げに尽力していきたい」と話しました。

今後は、来年春に開催予定の「のおがたチューリップフェア

2023」に向けて、11月頃にチューリップの球根植え、来年3月中旬に除草作業を行う予定です。

市民とつくる

観光PR始動

8月17日、直方市民によるシテプロモーション動画作成プロジェクトが発表され、観光PRプロデューサーと市民プロダクションがお披露目されました。

本プロジェクトは、昨年度策定された「直方市観光基本計画」に基づき、市内の人への市の魅力を発信し、認知度の向上や、市への愛着や誇りにつなげることを目的とした、市民参加型でのプロジェクトです。

PRプロデューサーはサウンドデザイナーの清川進也さん。2016年に大分県別府市の地域振興事業である「湯く園地計画」をプロデュースし、本市では同基本計画策定関連のワークショップで講師を務めています。

会場で清川さんは、「あらゆるものが観光につながる可能性を秘め



ている。これまで育んできたものを磨き上げることが、未来の観光につながる」と話し、直方の魅力とは何かをワークショップ等を通じて、市民の意見を取り入れながら直方オリジナルの動画を制作します。

市長は「皆さんの意見を取り入れて、どんな動画ができるのかわくわくしている。このプロジェクトが市の発展につながることを期待している」と話しました。

強豪チームの選手として 全国中学校 バスケットボール大会出場

8月26日、直方北小学校出身の山根駆流さんが「第52回全国中学校バスケットボール大会」に中村学園三陽中学校のメンバーとして出場したことを報告に表敬訪問しました。

同校は、九州ブロック代表3校のうち福岡県代表として3年ぶり3回目の出場。山根さんは、予選リーグからすべてゲームスタターとして出場し、181cmの長身を生かし、フォワードとして3ポイントシュートなどで得点をあげ、予選リーグ突破に貢献しました。決勝リーグでは、6点差で1回戦敗退と自身の途中退場がなければと、非常に悔しさが残る大



会となりました。山根さんは今後もプレーや身体づくりを続け、目指すは

プロのバスケットボール選手。市長は「自分が理想とする姿をしつかりと持ち、練習を重ねてさらに成長してもらいたい。今後活躍の報告を聞けるのを楽しみにしている」と激励しました。山根さんのさらなる活躍が期待されます。

市民総合体育大会 「一般軟式野球大会」

8月21日、第48回直方市民総合体育大会「一般軟式野球大会」決勝戦が中泉市民球場で行われ、「CLOVER」が「福岡スタークラブ」に勝ち、優勝しました。

「CLOVER」は、3回に相手ピッチャーの制球の乱れに乗じて6点を奪い快勝しました。

同チームの内田監督は「来年は、2連覇を目指します」と力強く語りました。

